

議題 2

青少年交流事業の開催結果について（報告）

- 1 「2015広島市・大邱広域市青少年交流事業」開催結果（育成課）
- 2 「平成27年度広島・長崎市児童生徒平和のつどい」開催結果（育成課）
- 3 「青少年国際平和未来会議ヒロシマ2015」開催結果（育成課）
- 4 「第23回世界スカウトジャンボリー広島ピースプログラム」開催結果（育成課）

「2015広島市・大邱広域市青少年交流事業」開催結果

1 目的

広島市の姉妹都市である韓国大邱広域市に青少年を派遣し、生活を共にしながら国際交流を行うことにより、本市と大邱広域市の青少年の相互の友情を深めるとともに、青少年の世界平和への意識を高める。

2 主催

広島市・大邱広域市青少年交流事業実行委員会

(構成：広島県日韓親善協会、広島市教育委員会、広島ユネスコ協会、NPO 法人友愛アカデミー)

3 事業期間

平成27年7月29日(水)～8月2日(日)〔4泊5日〕

4 参加者

広島市 24名〔指導者3名、青少年21名(中学生9名、高校生12名)〕

大邱広域市 26名〔指導者4名、青少年22名(中学生10名、高校生12名)〕

5 主な日程

月 日	内 容	宿 泊
7月29日(水)	広島出発(新幹線、高速船利用) 釜山到着、高靈(コリョン)へ移動、高天原、遺跡等見学、 開会式、歓迎夕食会、グループ別行動	イエマウル農園(高靈)
7月30日(木)	大邱へ移動、近代路地ツアー 教育庁訪問、ホームステイ	ホームステイ(大邱)
7月31日(金)	浦項(ポハン)へ移動 水上体験(ラフティング) レクリエーション、グループ別活動(発表)	海洋修練院(浦項)
8月1日(土)	POSCO(製鉄工場)見学 大邱へ移動、竹弓体験、螺鈿漆器体験 「大邱青少年オウルハンマダン」参加 閉会式、さよならパーティー	エルディスリージェント ホテル(大邱)
8月2日(日)	西門市場ツアー 釜山港へ移動、釜山出発(高速船、新幹線利用) 広島到着	



グループ別活動(文化比較)



竹弓体験



大邱青少年オウルハンマダン
(書道パフォーマンス披露)

6 成果

参加者は韓国の生活習慣や文化について学びながら相互理解を深め、グローバルな視野を広げる契機となった。また、今後も日韓の友好親善の架け橋となりたいとの意識を醸成することができた。

7 事業後の成果の広報

11月15日(日)の「国際交流・協力の日」において事業報告会を行うとともに、報告会資料や参加者が書いた感想を広島市ホームページで公開する。

「平成27年度広島・長崎市児童生徒平和のつどい」開催結果

1 目的

広島・長崎両市の児童生徒が交互に訪問し合い、平和学習を通じて平和意識の高揚を図るとともに、世界恒久平和の実現に貢献する意欲と態度を育む。また、集団生活や体験学習を通じて、友情と親睦を深めるとともに、自主性や社会性を育てる。さらに、青少年リーダーとしての指導力や実践力を養う。

2 主催

広島市教育委員会（青少年育成部育成課）
広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会
〔広島市子ども会連合会（担当：中区子ども会連合会）、広島市教育委員会〕

3 開催期間

平成27年8月21日（金）～8月23日（日） 2泊3日

4 参加者

広島市 99名〔児童生徒45名、リーダー19人、引率者35名〕
長崎市 49名〔児童生徒29名、リーダー9人、引率者11名〕

5 日程

月日	曜日	内容	宿泊場所
8月21日	（金）	入所式、オリエンテーション、歓迎セレモニー、ウェルカムパーティー	三滝少年自然の家
8月22日	（土）	班別で世界遺産めぐり ・平和記念公園（原爆ドーム、原爆死没者慰霊碑への献花・黙とう、広島平和記念資料館見学、碑めぐり、原爆の子の像への折鶴奉納） ・宮島（厳島神社、大鳥居） キャンプファイヤー	三滝少年自然の家
8月23日	（日）	お別れ式、閉会式、まとめ、解散式	



原爆死没者慰霊碑への献花



広島平和記念資料館見学



原爆の子の像への折鶴奉納

6 成果

広島・長崎両市の児童生徒が本市における平和学習を通して平和意識を醸成し、世界恒久平和の実現に貢献する意欲と態度を育むことができた。

また、参加者は集団生活や体験学習を通じて、自主性や社会性を培い、青少年リーダーは、指導力や実践力を養うことができた。

7 事業後の成果の広報

事業概要や参加者が書いた感想を広島市ホームページで公開する。



平成27年8月27日
教育委員会青少年育成部育成課

「青少年国際平和未来会議ヒロシマ2015」開催結果

1 目的

本市と姉妹・友好都市等の青少年が本市に集い、互いに世界平和について考え、意見を交換し合うことにより、友情と相互理解を深めるとともに、広く世界の国々の青少年に核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現を願う「ヒロシマの心」を伝え、次代を担う青少年の世界平和への意識を高めることにより、グローバル人材の育成を図る。

2 主催

青少年国際平和未来会議ヒロシマ2015実行委員会
(構成：一般社団法人広島国際青少年協会、広島市教育委員会、広島市ほか)

3 開催期間

平成27年8月4日(火)～8月14日(金) 10泊11日

4 参加者

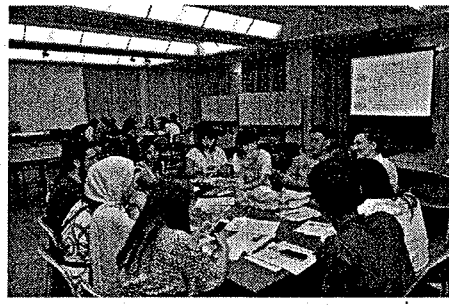
広島市 26名 [指導者5名、青少年21名(高校生・大学生)]
姉妹・友好都市・平和首長会議リーダー都市等23都市 56名 [指導者6名、青少年50名(高校生・大学生)]
ボルゴグラード、ハノーバー、重慶、大邱、モンテリオール、ホノルル、バンコク、マラコフ、サントス、マンチェスター、コーチン、グラノーラス、ウェリントン、寧波、ポズナン、ブランタイア、コベントリー、ペローナ、イズミール、テヘラン、ハノイ、プノンペン、サンクトペテルスブルク

5 日程

月 日	午 前	午 後	夜	宿 泊
8月4日(火)	各都市到着			国際青年会館
8月5日(水)	オリエンテーション 「母たちの祈り」DVD視聴	原爆詩の朗読練習	歓迎夕食会	国際青年会館
8月6日(木)	平和記念式典参列 鯉のぼりの署名運動	「ヒロシマの心を世界に」 (開会行事・英語による平和宣言・原爆詩朗読・各都市発表) [国際会議場ヒマワリ]	灯籠流し	国際青年会館
8月7日(金)	平和記念資料館見学 語り部の話を聞く会 [国立追悼祈念館]	学校訪問(伝統文化体験) [基町・舟入高校]		国際青年会館
8月8日(土)	上田流和風堂見学 (茶道体験)	厳島神社見学		国民宿舎 みやじま杜の宿
8月9日(日)	杓子・もみじ饅頭作り体験 宮島散策	ホームステイ		ホームステイ
8月10日(月)	ホームステイ	ホームステイ OBミーティング		ホームステイ 国際青年会館
8月11日(火)	OBや平和市長会議参加者 からのプレゼンテーション	グループディスカッション	盆踊り体験 [千田小学校]	国際青年会館
8月12日(水)	グループディスカッション	ヒロシマアピール作成 OBを中心に事後活動展開についてディスカッション		国際青年会館
8月13日(木)	ヒロシマアピールまとめ	閉会式・未来大使委嘱式 [国際会議場ダリア]	さよなら パーティー	市内ホテル
8月14日(金)	各都市帰国			



原爆詩の朗読（基町高校背景画作成）



グループディスカッション



ヒロシマアピールの発表

6 成果

21カ国24都市から参加した青少年が11日間の様々なプログラムに参加する中で、本事業のこれまで10年間の歩みを振り返り、今後も平和貢献活動を効果的に展開していくための方策についてディスカッションを行い、ヒロシマアピールをまとめて発表した。

また、参加青少年は言葉や文化の違いを越えて、世界恒久平和の実現に向けて共に行動する同志としての絆を深めることができ、グローバル人材の育成につながった。

7 事業後の成果の広報

11月15日（日）の「国際交流・協力の日」において事業報告会を行うとともに、報告会資料や参加者が書いた感想を広島市ホームページで公開する。

「第23回世界スカウトジャンボリー広島ピースプログラム」開催結果

1 目的

山口県山口市をメイン会場に、日本では44年ぶりに開催される第23回世界スカウトジャンボリーの1プログラムである「広島ピースプログラム」の開催を支援することにより、参加者が被爆の実相や核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願うヒロシマの心に触れ、平和について考え語り合う機会を提供し、平和への思いの共有を図る。

2 主催等

大会主管：(公財)ボーイスカウト日本連盟

大会運営：日本ボーイスカウト広島県連盟

※ 本市は広島ピースプログラムの会場となる広島国際会議場の使用料相当額を補助金として交付すること等により、開催を支援した。

3 開催期間

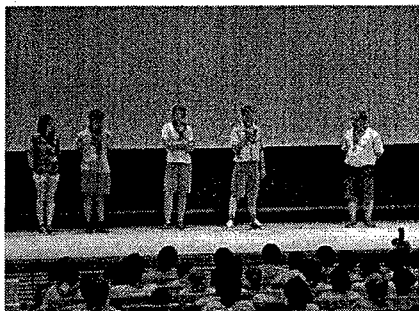
平成27年7月30日(木)～8月6日(木)(8月2日(日)を除く。)

4 参加者

25,440人(世界155の国と地域から14歳以上18歳未満のスカウト及び指導者)

5 日程

月 日	内 容	開催場所
7月30日(木) ～ 8月5日(水)	平和記念資料館見学、平和記念公園見学、被爆体験記朗読会及びスカウトからのメッセージ、書道体験、慰霊折鶴製作	平和記念公園内及び広島国際会議場
8月6日(木)	各国の代表者など200人が、以下のプログラムに参加。平和記念式典参列、原爆の子の像への折鶴献呈式、スカウト交流会(会場：広島サンプラザ)	平和記念公園内及び広島サンプラザ



スカウトからのメッセージ



慰霊折鶴製作



原爆の子の像への折鶴献呈式

6 成果

25,000人を越える世界のスカウト達が本市で様々なプログラムに参加する中で、被爆の実相に触れ、被爆者の思いを体感し、世界恒久平和の実現に向けて主体的に行動する態度を養った。

※ 事業概要等について、広島市ホームページで公開する。